



楽しかったイベントを思い出しています...

県民の森だより 5 2020 月号

発行 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料
利用時間：4月～10月/9時～16時30分
11月～3月/9時～16時

『春の妖精』たちも姿を消して山笑う季節になりました。

収束がみえない感染症対応の行動制限のため、自宅で過ごす時間が長引いている毎日ですが、今森の中では動植物達が深い眠りから覚め、日々活発に動き始めています。今が、森の中で変化を一番感じ取れる毎日で、日々変化するこの中で皆様の体力維持とリフレッシュされることをお勧めします。(所長：蜂谷仁)

コロナウイルス関連対応について

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として以下のように施設の使用とイベントを休止させていただきます。

1. 期間 4月10日(金)から当面の間
 2. 建物(中央記念館、青少年の森内建物全て)、アスレチック、野外炊飯場(中央記念館内トイレ、自動販売機は利用可)
 3. イベントは全て当面の間休止です
- ※駐車場・園内の開放空間は通常通りご利用いただけます。
※最新情報はホームページにてご確認ください。

今月の スタッフが見つけたしぜんのひとつ けんみんのもり写真館



ツルカノコソウ(スイカズラ科) 蔓鹿の子草

名前のカノコは鹿の子の事で、染め物の鹿の子模様を鹿の子絞りといい、淡いピンク色の花姿が“鹿の子絞り”に似ているからです。花の後、茎がツル状に伸びるので、ツルが付きました。沢や湿り気の有る所に多く咲いています。(駒野)



ホウチャクソウ(イヌザフラン科) 宝鐸草

名前は花を寺院の軒先に吊り下げている宝鐸に見立てた。莖が上部で分岐し、花被片は垂れ下る。毒成分は強くないですが有毒植物です。そしてとても食べられる味ではないようです。(駒野)



ミズキ(ミズキ科) 水木 ダンゴノキ・クルマミズキ

名前は水木の意味で、春先に枝を折ると水(樹液)がしたたり落ちることによります。正月や小正月に切り取った枝に、まゆ玉や団子を飾る風習があります。材は白色で柔らかく加工しやすく、こけしなどに利用されます。(駒野)



フジ(マメ科) 別名ノダフジ

別名は大阪福島区の野田駅の周辺に繁茂していたのでノダ(野田)です。日本の固有種。ツルは左巻き。山野で最も普通に見られるつる植物の代表種です。山野を歩くと至る所で紫色のフジの花が見られます。紫色の花は見事ですが、林業では厄介な植物です。(駒野)

木のちょっとときーになる話

「七重八重花は咲けども山吹の 実の一つだに無きぞ悲しき」この歌は、かの有名な太田道灌の逸話に出てくる、『後拾遺和歌集』に載る兼明親王が詠んだものです。ご存知の方も多いと思いますが、逸話の内容はこうです。鷹狩りに出た若き日の道灌が、にわか雨に遭い村のあばら屋で蓑を借りようとしたところ、みすぼらしい少女が出てきて、無言でヤマブキの一枝を差し出した。道灌は怒ってその場を立ち去ったが、後で家臣から、「蓑」と「実の」を掛け、蓑一つさえ無い悲しさをヤマブキの一枝に託したものと聞いた。自分の無学を恥じた道灌は勉学に励み、後に江戸城を築くほどの名将になった、という話です。ところで、ヤマブキは本当に実を付けないのでしょうか?

ヤマブキは日本に自生するバラ科ヤマブキ属の5弁花で、“やまぶき色”の語源になるほど昔から日本人には身近に存在する親しみ深い植物であり、『万葉集』では十七首詠まれています。実は、ヤマブキは実を付けます。実を付けないのは園芸種の八重咲きの

～ vol.7 ヤマブキ～

ものです。『後拾遺和歌集』が編纂されたのは平安時代後期ですが、その当時、八重咲きのヤマブキが存在していたのでしょうか。文献によると八重咲きのものはすでに平安時代に庭木として植えられていたとされています。突然変異でできたものを株分けや挿し木などで増やし、庭木として愛でていたようです。同時代の他の歌集にもヤエヤマブキと思われるものが数首詠まれていますので、当時存在していたことは確かでしょう。話を戻しますが、ヤエヤマブキは雄しべが花弁化し、雌しべが退化して八重咲きになったものです。ですから、実が付きません。



「道灌の逸話は、本当かどうか、どうか(ん)ない」などと、みもふたも無いことを言って嫌われるオヤジにならないようにご注意ください!! (片岡)